令和 8 年度（第 49 回）石川県産業安全衛生大会を開催いたしました

令和 8 年 10 月 27 日（火）、石川県地場産業振興センター 本館 大ホールにおいて「令和 8 年度（第 49 回）石川県産業安全衛生大会」を開催いたしました。

当日は県内の事業場から安全衛生管理者や労務担当者など、約 200 名の方々にご参加いただき、盛会のうちに終了いたしました。

大会概要

- **日時**：令和 8 年 10 月 27 日（火） 13:30～
- **会場**：石川県地場産業振興センター 本館 大ホール
- **主催**：石川県労働災害防止関係団体連絡協議会
  - 公益社団法人石川県労働基準協会連合会
  - 各地区労働基準協会（金沢・小松・七尾・加賀・奥能登総合）
  - 各労働災害防止協会石川県支部（建設業、陸上貨物運送事業、林業・木材製造業）
  - ほか関係団体・機関
- **主唱**：石川労働局、各労働基準監督署（金沢・小松・七尾・穴水）
- **参加者数**：約 200 名


高桑幸一会長

大会の様子

第 1 部：式典（開会式及び表彰式）

開会にあたり、労働災害でお亡くなりになられた方々へ深く哀悼の意を表し、参加者全員で黙禱を捧げました。

主催者を代表して当連合会の髙桑幸一会長が式辞を述べた後、長年にわたり安全衛生の推進と労働災害防止に多大な貢献をされた事業場および個人に対して表彰状の授与が行われました。


石川県労働基準協会連合会会長賞
事業場賞
サンユー精密㈱ 様


石川県商工労働部長 西村 聡 氏


石川労働局長 常盤 剛史 氏

- **各団体表彰授与**
  - （公社）石川県労働基準協会連合会長表彰
  - 建設業労働災害防止協会石川支部長表彰
  - 陸上貨物運送事業労働災害防止協会石川県支部長表彰
  - 林業・木材製造業労働災害防止協会石川県支部長表彰
  - 厚生労働省関係表彰披露

また、ご来賓として石川県商工労働部長 西村 聡氏、石川労働局長 常盤剛史氏よりご祝辞を賜りました。

第 2 部:講演

(1) 安全衛生優良事業場事例発表

- **演題**:「重大労災ゼロへの徹底追及と安心して働くことができる職場環境改善」
  発表者:株式会社 JR 西日本新幹線テクノス　白山事業部
  安全品質課長　竹田　睦　氏



JR 西日本新幹線テクノス
白山事業部
安全品質課長　竹田　睦　氏

現場における安全意識の定着や、誰もが安心して働くことができる職場づくりに向けた実践的な取り組み事例についてご発表いただきました。

(2) 特別講演

- **演題**:「DMAT の危機対応:能登半島地震・豪雨災害までの経験」



DMAT 事務局次長 近藤　久禎 氏

講師:DMAT 事務局次長 近藤 久禎 氏

東日本大震災や新型コロナウイルス対応、さらに能登半島地震や奥能登豪雨災害における DMAT の活動経験をもとに、災害時や健康危機管理における本質的な危機対応のあり方についてご講演いただきました。緊急時における組織の連携や判断力など、事業場の防災・危機管理にとっても極めて示唆に富む内容となりました。

最後に、安全で快適な職場環境の形成と労働災害の途絶を目指し、満場一致で大会宣言が採択されました。

ご参加いただきました皆様、ならびにご協力いただきました関係機関の皆様に心より御礼申し上げます。
当連合会では、今後とも県内事業場の安全衛生水準の向上と労働災害の防止に向けた取り組みを推進してまいります。

大会宣言

本年、発生した七月の熊本地震および八月の千葉豪雨をはじめ各地で発生した自然災害により、働く人々を含め多くの人命が失われ、甚大な被害がもたらされた。被災された方々に心からお見舞い申し上げるとともに、被災地が一日も早く安全に復旧・復興されることを強く願う。

石川県における労働災害は、関係者の不断の努力により労働災害防止対策が進められているものの、昨年の死亡災害は一昨年と同数となり、休業四日以上の死傷災害は増加となっている。第三次産業では依然増加傾向にあり、転倒や動作の反動といった作業行動に起因する災害の多発、そして高年齢労働者災害の増加などの課題への対応や、一般健康診断における高い有所見率、さらに、精神障害の労災認定件数の増大など、社会的・経済的損失は引き続き膨大なものとなっている。

こうした状況の中、労働安全衛生法の改正により、個人事業者等に対する安全衛生対策の推進、労働者数五十人未満の小規模事業場におけるストレスチェックの実施、化学物質による健康障害の防止対策、高年齢者に配慮した労働災害防止対策などへの対応が求められている。また、能登半島地震、さらに奥能登豪雨による復興工事等における災害防止対策と健康障害防止対策も着実に進めていく必要がある。

社会や職場の環境が急激に変化する現代において、安全衛生活動を着実に進め、誰もが安心して働ける職場を実現するためには、ＡＩやロボットなどの先端技術を現場の実情に応じて活用し、変化する環境に柔軟に対応していくことが求められる。

労働災害のない、安心して働ける職場環境を実現することは、全ての働く人、全ての国民の願いである。さまざまな課題に対して、全ての関係者が、第十四次労働災害防止計画に掲げられた重点事項を確実に実施することが重要である。

労働災害による犠牲者をこれ以上出さないという決意を新たに、関係者が一丸となって取り組むことを誓う。

右、宣言する。

令和八年十月二十七日
第四十九回 石川県産業安全衛生大会

令和 9 年度（第 50 回）石川県産業安全衛生大会は令和 9 年 10 月 20 日（水）開催予定です。